

15作品が入賞

大友公園桜まつりスケッチ大会表彰



4月1日に行われた「大友公園桜まつりスケッチ大会」の作品展示及び表彰式が行われました。

出品された52作品の中で、最高の津久見市長賞を泥谷斗真くんが2年連続で受賞。作品は力作揃いで、各賞あわせ15作品が入賞しました。

つくみのゴールデンウィーク



今年のゴールデンウィークは小雨が降ることはありましたが、イベント等に大きな影響を与えることはなく、天気にも恵まれたゴールデンウィークだったのではないかと思います。

9連休だった方もおられたようで、市内の観光地やイベントでは多くの方が来場されました。

安心・安全を守っていきます 消防団新入団員研修会



4月23日に津久見市消防団新入団員研修会が行われました。

津久見市消防署にて辞令を交付され、消防団活動に必要な小型動力ポンプの取扱いや放水訓練を実施しました。今後各地域の安心・安全のため活動していきます。

津久見椋の実少年少女合唱団 第38回定期演奏会



5月6日、市民会館にて「津久見椋の実少年少女合唱団 第38回定期演奏会」が開催されました。

昼夜2回公演で実施され、ミュージカルやたくさんの歌、踊りに、満員の会場から盛大な拍手が送られました。

全国大会に出品されます

第28回豊の国ねりんピック



津久見市の高木綾子さんが「ひまわり」を題材として描いた作品が第28回豊の国ねりんピック美術展で最優秀賞を受賞され、知事から表彰を受けました。受賞に際して審査員からは、「統一感のある色調で、力強く広がりのある素晴らしい作品」との評価をいただいています。作品は9月に秋田県で開催される全国大会に出品されます。

えびねを育てる楽しさを知ってほしい

第34回大分県えびね連合会展



由布市「はさま未来館」で第34回大分県えびね連合会展が開催されました。

展示会では260鉢が並ぶ中、総合優勝の県知事賞に津久見市の増田孝則さんが選ばれました。

増田さんは「多くの人にえびねを育てる楽しさを知ってもらいたい。」と話してくれました。

5月12日『看護の日』

ふれあい看護体験



「看護の日」に先立つ5月9日、津久見中央病院・津久見市役所において「一日看護師・一日保健師」の委嘱状交付式が行われました。交付式終了後、津久見高等学校の生徒8名が、看護師・保健師を体験しました。6名が津久見中央病院において車いすやストレッチャーに実際に乗ってみたい、患者さんの手・足浴を行いました。2名が保健師の赤ちゃん訪問に同行し、赤ちゃんの体重測定などを行いました。この経験は、きっと将来役に立つことと思います。

九州・全国大会へ 俊空塾



県スポーツ少年団空手道交流大会の結果、甲斐天智選手、工藤真子選手、山崎安珠選手、藤井大賀選手、青木龍真選手が、福岡県で行われる九州大会へ出場します。なお、甲斐選手、工藤選手、山崎選手については、8月に東京都で行われる全国大会にも出場します。

つくみんと一緒に



5月16日、向洋保育園の園児が、交通安全協会交通指導員のお姉さんから横断歩道の渡り方を学びました。

飛び入りで参加した「つくみん」にみんな大喜びで、一緒に「みぎてをあげて、みぎをみて、ひだりをみて、もういちどみぎをみて、よかつたらわたります。」と声をそろえてがんばりました。園児にとって、交通ルールを学ぶ良い機会になったと思います。最後は「つくみん」との記念撮影にみんな笑顔がいっぱいでした。

「みなと」を核としたまちづくり みなとオアシス登録証交付式



5月9日、市役所において「みなとオアシス登録証交付式」が行われました。今回は制度変更に伴う再認定ということになります。「みなとオアシス津久見」の代表施設であるつくみん公園などを核としながら、今後も地域の活性化に取り組んでいきます。

開園30周年 第30回うばめ園まつり



5月21日、つくみん公園で「うばめ園まつり」が行われました。開園30周年記念ということで、先着500名に記念品のタオルが配布されました。ステージでは少林寺拳法や歌、ダンスなどのイベントがあり、たくさんの来場者と一緒に盛り上がりしました。

“もう…ではなく、まだ…” 津愛大学 5月学習会



5月16日、公民館で元内閣総理大臣村山富市氏を講師に「津愛大学5月学習会」が行われました。講演で「私はもう93歳ではなく、まだ93歳。若い気持ちを持つためにも“もう”という言葉は使わない。できることは自分です。」と話されていました。いつまでもお若い秘訣だと思います。

復興に向け取り組んでいます 南阿蘇村 野崎副村長来庁



5月9日、南阿蘇村の野崎副村長が来庁されました。被災から1年が経過しましたが、復興に向けて現在も取り組んでおり、これまでの職員派遣等に関してのお礼と、これからも変わらぬご支援をお願いしたい旨の話をいただきました。今後も、復興に向けて協力していきます。

※市ホームページ内「取材日誌」、市公式フェイスブックにて、掲載出来なかった写真や記事をご覧ください。